

10月15日に政府が開催した新型コロナウイルス感染症対策分科会において、「大学入学共通テスト新型コロナウイルス感染症予防対策(案)」が示されました。予防対策(案)では、6月に決定したガイドラインをベースに大学入学共通テスト実施に当たって各大学が対応する内容が整理されています。

1. 試験室の設定等
    - ・試験室の座席間の距離（1メートル程度）の確保
    - ・休養室に医師等を配置
    - ・保護者等の控室は原則設置しない 等
  2. 各種感染予防策
    - ・昼食時を除きマスクの常時着用を義務付け（未所持者にはマスクを提供）
    - ・速乾性アルコール製剤等を配置し、入退室を行うごとに手指消毒を義務付け
    - ・1科目終了ごとに少なくとも10分程度以上換気
    - ・昼食時は学生食堂等の開放は行わず、他者との会話等を極力控えつつ、自席での食事を指示
    - ・トイレ入口に導線を示し、混雑を避けた利用を促すとともに必要に応じ試験開始時間を繰り下げ
    - ・試験前日に机・椅子等のアルコール消毒実施
    - ・主任監督者の口頭指示による飛沫対策のため主任監督者と受験者との距離を2メートル以上確保
  3. 試験場入場等の対応
    - ・入場時の混雑を避けるため、各試験場ごとに、入場開始時間の前倒しや、一定間隔の確保、複数の入口・門の使用などの工夫を行い、大学のホームページ等で周知
    - ・発熱・咳等の症状のある受験者は申し出るよう、試験会場入口に案内を掲示し、注意喚起
    - ・一斉退出による混雑を避けるため、退室の順番や試験場からの退出方法を監督者から指示 等
  4. 発熱・咳等の症状を申し出た受験者への対応
    - ・各試験場の開始前ごとに、発熱・咳等の症状の有無を監督者が確認し、症状のある者は、休養室で対応
    - ・休養室では医師等がチェックリストに基づき受験者の症状について確認
    - ・チェックリストの確認項目に該当した者は、追試験を案内 \*当日の受験は認めない。
    - ・チェックリストの確認事項に該当せず、継続受験を希望する場合は別室受験 等
- \*別室の座席間隔は概ね2メートル以上とする。  
 (参考) ●発熱・咳等を申し出た受験者用チェックリスト  
 \*A欄で1項目以上、又はB欄で2項目以上、本チェックリストに該当する場合は、追試験を案内  
 \*チェックリスト該当者には医療機関への受診を勧める

(チェックリスト)

	確認事項
A	発熱の症状がある (37.5度以上)
	息苦しさ (呼吸困難) がある
	強いだるさ (倦怠感) がある
B	味を感じない (味覚障害がある)
	臭いを感じない (嗅覚障害がある)
	咳の症状が続いている
	咽頭痛が続いている
	下痢をしている (持病や食あたりなど新型コロナウイルス感染症以外の原因が推測されるものを除く)
	過去2週間以内に、同居している者で医療機関を受診して新型コロナウイルスが感染症の罹患が疑われ、かつ、その疑いが否定されないまま症状が続いている者がいる
	過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等の在住者との濃厚接触がある

また、無症状の濃厚接触者の大学受験については、「初期スクリーニング」（自治体等によるPCR等検査）の結果、陰性であること」「受験当日も無症状であること」「公共の交通機関を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に行くこと」「終日、別室で受験すること」の要件をクリアしていれば受験が認められることになりました。

○令和3年度大学入学共通テスト出願状況 (10月14日現在)

出願総数 535,244人(昨年557,699人)：現役生449,789人(452,235人) 過年度生85,455人(105,464人)

○2年生対象進路講演会のお知らせ

11月19日(木)午後2時25分から、本校体育館にて、大山純治氏(北予備)を講師にお迎えし、進路講演会を行います。演題「これからの学習の進め方と最近の大学入試概況について」です。1、2年生の保護者の方で出席の御希望がありましたら進路課志波までお申し出ください。申込11月4日(水)まで。

「富士山をはじめ、山々の初冠雪の知らせを聞くようになりました。下関でも「寒い」と感じる日が増えてきました。今年の冬は特に風邪対策を十分とりたいものです。(文責 木嶋)」